

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	日本アニメ・マンガ専門学校
設置者名	学校法人国際総合学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養 専門課程	マンガクリエイト科	夜・通信	1728 時間	160	
	コミックイラスト科	夜・通信	2005 時間	160	
	アニメーター科	夜・通信	1980 時間	160	
	キャラクターデザイン科	夜・通信	1846 時間	160	
	マンガ・イラスト総合学科	夜・通信	3786 時間	240	
	3D アニメゲームクリエイター科	夜・通信	3059 時間	240	
	ビジュアルデザイン研究科	夜・通信	7835 時間	80	
	ビジュアルデザイン専攻科	夜・通信	7835 時間	320	
(備考) 3D アニメゲームクリエイト科は新設学科3年目					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.web-jam.jp/disclosure/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 無し
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	日本アニメ・マンガ専門学校
設置者名	学校法人国際総合学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ： http://www.web-jam.jp/disclosure/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	団体職員	2019年6月1日～2023年5月31日	政策的観点
非常勤	会社役員	2019年6月1日～2023年5月31日	教育統括的観点
非常勤	大学教授	2019年6月1日～2023年5月31日	教育統括的観点
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本アニメ・マンガ専門学校
設置者名	学校法人国際総合学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画の作成は、学科毎に専任・兼任両教員によって構成する「教育課程編成委員会」を中心に作成・審議を行い、関係企業・学校関係者評価委員等の意見を反映させながら最終決定するものとする。</p> <p>① 9月：学科毎に、第1回教育課程編成委員会会議での意見を加味し、翌年度授業計画案を作成開始。</p> <p>②11月：第2回教育課程編成委員会・非常勤講師の意見を反映</p> <p>③12月：修正案取纏め・各科目担当選定、科目担当毎の内容精査。非常勤講師打診</p> <p>④ 2月：タイムテーブル調整後、学校関係者評価委員の最終確認を行う</p> <p>⑤ 3月：最終授業計画の決定。シラバスをホームページで公表</p> <p>⑥ 4月：新学期オリエンテーションにて学生に告知</p>	
授業計画書の公表方法	ホームページ： http://www.web-jam.jp/disclosure/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

出席率・授業姿勢・課題の完成度・試験結果の項目を、科目毎にシラバスに設定された割合により総合的に判定をする。

- ①学科毎に、学期末毎に、課題・試験等による学期末考査を行う（年2回）
- ②学期末考査を受ける者は、各科目毎に出席率80%以上である事が必要である
- ③成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)で、D評価を不可とする
- ④内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。
ただし、別途追試験・追課題の審査料として、3,000円を請求する。
- ⑤学修成果の評価は成績表としてまとめ、保護者宛に郵送する
- ⑥上記に加え、年度末に行われる「卒業・進級判定会議」において、修了課題・卒業課題の評価と共に、最終的な卒業・進級認定判断を行う。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

・評価方法、成績評価基準

評価点 A (80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下・不可)

①試験・課題評価 (80%)

作品クオリティ、納期管理、プレゼンテーション等、総合的に評価

②授業姿勢 (20%)

遅刻欠席、積極的な授業への参加（発言等）等、総合的に評価

※上記①②の評価ウエイトは科目・課題によって変動する場合がある。

※授業科目出席率80%に満たないものは評価対象としない。(評価点Dとする)

・評価方法、成績評価基準の公表

新学期オリエンテーション、及び各科目1回目の授業にて、学生必携・シラバスを用いて学生に告知。

評価方法、成績評価基準が記載されているシラバスを自校ホームページにて公表

・成績分布状況の把握

履修科目の成績評価を数値化し、全科目の合計点の平均を算出。

その平均点 (GPA) により、成績の分布状況を把握する。

成績評価の数値化は、以下の通りとする

A : 5、B : 4、C : 3、D : 2 (不可)

※評価点D (不可) の場合は、規定に従い追試・追課題を実施し、単位修得を認める。

GPAの計算は、小数点第2位以下を四捨五入するものとする。

客観的な指標の 算出方法の公表方法	ホームページ： http://www.web-jam.jp/disclosure/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本方針 下記、卒業認定の基準を満たし、且つ専門分野において、即戦力となる専門知識・技術を習得し、社会人・職業人として業界・地域社会に貢献できる人材であると認めたものに対し卒業を認定する。 ・卒業認定の基準 <ul style="list-style-type: none"> ①出席率：学科毎の要出席時間数の80%以上（各教科）であること ②単位取得基準：学科毎の必要科目の単位をすべて取得していること ③卒業制作：評価 C 以上を取得していること ④授業料その他納付金に未納がないこと ⑤内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。 ただし、別途追試験・追課題の審査料として、3,000円を請求する。 <p>※上記、基本方針、卒業認定の基準に則り、教育課程編成委員にて卒業・進級判定会議を実施し、卒業認定の可否について審議・決定を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期 1月下旬（進級制作、卒業制作提出後に実施） 	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページ： http://www.web-jam.jp/disclosure/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本アニメ・マンガ専門学校
設置者名	学校法人国際総合学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ： http://www.web-jam.jp/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	ホームページ： http://www.web-jam.jp/disclosure/
財産目録	ホームページ： http://www.web-jam.jp/disclosure/
事業報告書	ホームページ： http://www.web-jam.jp/disclosure/
監事による監査報告（書）	ホームページ： http://www.web-jam.jp/disclosure/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
		文化教養	マンガクリエイト科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
	昼	1790 単位時間／単位	556 時間	570 時間	950 時間		
2年			2076 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		37人	0人	2人	9人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画の作成は、学科毎に専任・兼任両教員によって構成する「教育課程編成委員会」を中心に作成・審議を行い、関係企業・学校関係者評価委員等の意見を反映させながら最終決定するものとする。 ① 9月：学科毎に、第1回教育課程編成委員会会議での意見を加味し、翌年度授業計画案を作成開始。 ②11月：第2回教育課程編成委員会・非常勤講師の意見を反映 ③12月：修正案取纏め・各科目担当選定、科目担当毎の内容精査。非常勤講師打診 ④ 2月：タイムテーブル調整後、学校関係者評価委員の最終確認を行う ⑤ 3月：非常勤講師へ正式依頼。最終授業計画決定
成績評価の基準・方法
（概要） ①出席率・授業姿勢・課題の完成度・試験結果の項目を、科目毎にシラバスに設定された割合により総合的に判定をする。 ②績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)、D評価は不可 ③内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。

④さらに、履修科目の成績評価を数値化し、全科目の合計点の平均を算出。 その平均点（GPA）により、成績の分布状況を把握する
⑤成績評価の数値化は、以下の通り A：5、B：4、C：3、D：2（履修不可） ※Dは、規定に従い、追試・追課題によって単位修得を認める
⑥GPAの計算は、小数点第2位以下を四捨五入するものとする
卒業・進級の認定基準
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）
年度末に全校の教育課程編成委員が行う「進級判定会議」にて進級認定、「卒業判定会議」にて卒業認定を行う。 進級・卒業認定の基準は、以下の通り。
①出席率：学科毎の要出席時間数の80%以上（各教科）出席していること ②単位取得基準：学科毎の必要科目の単位をすべて取得していること ③卒業制作／公演：評価 C 以上を取得していること ④授業料その他納付金に未納がないこと ⑤内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、 単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。 ただし、別途追試験・追課題の審査料として、3,000円を請求する。
学修支援等
（概要） ・個別相談の定期実施＋放課後校舎利用＋授業・課題制作相談および指導 ・3者進路相談会実施を主とする保護者との連携 ・スクールカウンセリング制度 ・学費・寮費等相談者への奨学金や各種ローンの相談

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 （100%）	2人 （14%）	3人 （21%）	9人 （65%）
（主な就職、業界等） サービス業、製造業			
（就職指導内容） 担任によるキャリアカウンセリング、業界研究、進路セミナー、 校内企業説明会及び選考会、年金講座、確定申告講座、等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 国家資格・検定等はなし			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
38人	4人	11%
(中途退学の主な理由) 体調面、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 日常的な出欠席管理・保護者との情報共有、担任・副担任・教務部部長による個人相談、非常勤教員との情報共有、外部カウンセラーによるスクールカウンセリング制度		

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	専門課程	コミックイラスト科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1730 単位時間/単位	452 時間		1743 時間		
	夜						
			2195 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
50人	63人	0人	2人	10人	12人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画の作成は、学科毎に専任・兼任両教員によって構成する「教育課程編成委員会」を中心に作成・審議を行い、関係企業・学校関係者評価委員等の意見を反映させながら最終決定するものとする。 ③ 9月：学科毎に、第1回教育課程編成委員会会議での意見を加味し、翌年度授業計画案を作成開始。 ②11月：第2回教育課程編成委員会・非常勤講師の意見を反映 ③12月：修正案取纏め・各科目担当選定、科目担当毎の内容精査。非常勤講師打診 ④ 2月：タイムテーブル調整後、学校関係者評価委員の最終確認を行う ⑤ 3月：非常勤講師へ正式依頼。最終授業計画決定
成績評価の基準・方法
(概要) ①出席率・授業姿勢・課題の完成度・試験結果の項目を、科目毎にシラバスに設定された割合により総合的に判定をする。 ④成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)、D評価は不可 ③内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。 ④さらに、履修科目の成績評価を数値化し、全科目の合計点の平均を算出。その平均点(GPA)により、成績の分布状況を把握する ⑤成績評価の数値化は、以下の通り A：5、B：4、C：3、D：2 (履修不可)

<p>※Dは、規定に従い、追試・追課題によって単位修得を認める ⑥GPAの計算は、小数点第2位以下を四捨五入するものとする</p>
<p>卒業・進級の認定基準 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>年度末に全校の教育課程編成委員が行う「進級判定会議」にて進級認定、「卒業判定会議」にて卒業認定を行う。 進級・卒業認定の基準は、以下の通り。</p> <p>①出席率：学科毎の要出席時間数の80%以上（各教科）出席していること ②単位取得基準：学科毎の必要科目の単位をすべて取得していること ③卒業制作／公演：評価 C 以上を取得していること ④授業料その他納付金に未納がないこと ⑤内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。 ただし、別途追試験・追課題の審査料として、3,000円を請求する。</p>
<p>学修支援等 (概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別相談の定期実施＋放課後校舎利用＋授業・課題制作相談および指導 ・3者進路相談会実施を主とする保護者との連携 ・スクールカウンセリング制度 ・学費・寮費等相談者への奨学金や各種ローンの相談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21人 (100%)	3人 (14.3%)	7人 (33.3%)	11人 (52.4%)
(主な就職、業界等) イラストレーター、デザイン業界			
(就職指導内容) 担任によるキャリアカウンセリング、業界研究、進路セミナー、校内企業説明会及び選考会、年金講座、確定申告講座、等			
(主な学修成果(資格・検定等)) 国家資格・検定等はなし			
(備考) (任意記載事項) 産官学連携事業により、在学中からイラスト・マンガ等の仕事案件を受注し実務訓練を実施。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45人	2人	4.4%
(中途退学の主な理由) 病気治療に専念するため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 日常的な出欠席管理・保護者との情報共有、担任・副担任・教務部部長による個人相談、非常勤教員との情報共有、外部カウンセラーによるスクールカウンセリング制度		

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	専門課程	アニメーター科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1774 単位時間/単位	169 時間	330 時間	1605 時間	時間	時間
	夜		2104 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30人	69人	4人	2人	12人	14人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画の作成は、学科毎に専任・兼任両教員によって構成する「教育課程編成委員会」を中心に作成・審議を行い、関係企業・学校関係者評価委員等の意見を反映させながら最終決定するものとする。 ⑤ 9月：学科毎に、第1回教育課程編成委員会会議での意見を加味し、翌年度授業計画案を作成開始。 ②11月：第2回教育課程編成委員会・非常勤講師の意見を反映 ③12月：修正案取纏め・各科目担当選定、科目担当毎の内容精査。非常勤講師打診 ④ 2月：タイムテーブル調整後、学校関係者評価委員の最終確認を行う ⑤ 3月：非常勤講師へ正式依頼。最終授業計画決定
成績評価の基準・方法
(概要) ①出席率・授業姿勢・課題の完成度・試験結果の項目を、科目毎にシラバスに設定された割合により総合的に判定をする。 ②成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)、D評価は不可 ③内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。 ④さらに、履修科目の成績評価を数値化し、全科目の合計点の平均を算出。その平均点(GPA)により、成績の分布状況を把握する ⑤成績評価の数値化は、以下の通り A：5、B：4、C：3、D：2 (履修不可)

<p>※Dは、規定に従い、追試・追課題によって単位修得を認める ⑥GPAの計算は、小数点第2位以下を四捨五入するものとする</p>
<p>卒業・進級の認定基準 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>年度末に全校の教育課程編成委員が行う「進級判定会議」にて進級認定、「卒業判定会議」にて卒業認定を行う。 進級・卒業認定の基準は、以下の通り。</p> <p>①出席率：学科毎の要主席時間数の80%以上（各教科）出席していること ②単位取得基準：学科毎の必要科目の単位をすべて取得していること ③卒業制作／公演：評価 C 以上を取得していること ④授業料その他納付金に未納がないこと ⑤内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。 ただし、別途追試験・追課題の審査料として、3,000円を請求する。</p>
<p>学修支援等 (概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別相談の定期実施＋放課後校舎利用＋授業・課題制作相談および指導 ・3者進路相談会実施を主とする保護者との連携 ・スクールカウンセリング制度 ・学費・寮費等相談者への奨学金や各種ローンの相談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19人 (100%)	0人 (0%)	16人 (84%)	3人 (16%)
(主な就職、業界等) アニメ制作会社 アニメーター 仕上げ 制作進行			
(就職指導内容) 担任によるキャリアカウンセリング、業界研究、進路セミナー、校内企業説明会及び選考会、年金講座、確定申告講座、等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国家資格・検定等はなし			
(備考) (任意記載事項) 産官学連携事業により、在学中にマンガ・イラスト等の仕事案件を受注し実務訓練を実施。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
58人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 日常的な出欠席管理・保護者との情報共有、担任・副担任・教務部部長による個人相談、非常勤教員との情報共有、外部カウンセラーによるスクールカウンセリング制度		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	キャラクターデザイン科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
2年		1780 単位時間/単位	193 時間	160 時間	1611 時間	0 時間	0 時間
			1964 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		78人	2人	4人	7人	9人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画の作成は、学科毎に専任・兼任両教員によって構成する「教育課程編成委員会」を中心に作成・審議を行い、関係企業・学校関係者評価委員等の意見を反映させながら最終決定するものとする。 ⑦ 9月：学科毎に、第1回教育課程編成委員会会議での意見を加味し、翌年度授業計画案を作成開始。 ⑧ 11月：第2回教育課程編成委員会・非常勤講師の意見を反映 ⑨ 12月：修正案取纏め・各科目担当選定、科目担当毎の内容精査。非常勤講師打診 ⑩ 2月：タイムテーブル調整後、学校関係者評価委員の最終確認を行う ⑪ 3月：非常勤講師へ正式依頼。最終授業計画決定
成績評価の基準・方法
(概要) ①出席率・授業姿勢・課題の完成度・試験結果の項目を、科目毎にシラバスに設定された割合により総合的に判定をする。 ②成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)、D評価は不可 ③内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。 ④さらに、履修科目の成績評価を数値化し、全科目の合計点の平均を算出。その平均点(GPA)により、成績の分布状況を把握する ⑤成績評価の数値化は、以下の通り

<p>A : 5、B : 4、C : 3、D : 2 (履修不可)</p> <p>※Dは、規定に従い、追試・追課題によって単位修得を認める</p> <p>⑥GPAの計算は、小数点第2位以下を四捨五入するものとする</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>年度末に全校の教育課程編成委員が行う「進級判定会議」にて進級認定、「卒業判定会議」にて卒業認定を行う。</p> <p>進級・卒業認定の基準は、以下の通り。</p> <p>①出席率：学科毎の要出席時間数の80%以上(各教科)出席していること</p> <p>②単位取得基準：学科毎の必要科目の単位をすべて取得していること</p> <p>③卒業制作／公演：評価C以上を取得していること</p> <p>④授業料その他納付金に未納がないこと</p> <p>⑤内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。</p> <p>ただし、別途追試験・追課題の審査料として、3,000円を請求する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別相談の定期実施＋放課後校舎利用＋授業・課題制作相談および指導 ・3者進路相談会実施を主とする保護者との連携 ・スクールカウンセリング制度 ・学費・寮費等相談者への奨学金や各種ローンの相談

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
41人 (100%)	1人 (2%)	31人 (76%)	9人 (22%)
(主な就職、業界等) ゲーム制作会社 デザイン会社 スマホゲーム業界			
(就職指導内容) 担任によるキャリアカウンセリング、業界研究、進路セミナー、校内企業説明会及び選考会、年金講座、確定申告講座、等			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 国家資格・検定等はなし			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
79 人	2 人	3%
(中途退学の主な理由) 学業不振のため1名、本人死亡のため1名		
(中退防止・中退者支援のための取組) 日常的な出欠席管理・保護者との情報共有、担任・副担任・教務部部長による個人相談、非常勤教員との情報共有、外部カウンセラーによるスクールカウンセリング制度		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	マンガ・イラスト総合学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
3年		2623 単位時間/単位	491 時間	210 時間	2727 時間	時間	時間
			3428 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30 人		44 人	0 人	3 人	16 人	19 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画の作成は、学科毎に専任・兼任両教員によって構成する「教育課程編成委員会」を中心に作成・審議を行い、関係企業・学校関係者評価委員等の意見を反映させながら最終決定するものとする。 ⑨ 9月：学科毎に、第1回教育課程編成委員会会議での意見を加味し、翌年度授業計画案を作成開始。 ⑩ 11月：第2回教育課程編成委員会・非常勤講師の意見を反映 ⑪ 12月：修正案取纏め・各科目担当選定、科目担当毎の内容精査。非常勤講師打診 ⑫ 2月：タイムテーブル調整後、学校関係者評価委員の最終確認を行う ⑬ 3月：非常勤講師へ正式依頼。最終授業計画決定
成績評価の基準・方法
(概要) ①出席率・授業姿勢・課題の完成度・試験結果の項目を、科目毎にシラバスに設定された割合により総合的に判定をする。 ②成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)、D評価は不可 ③内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。 ④さらに、履修科目の成績評価を数値化し、全科目の合計点の平均を算出。その平均点(GPA)により、成績の分布状況を把握する ⑤成績評価の数値化は、以下の通り A：5、B：4、C：3、D：2 (履修不可)

<p>※Dは、規定に従い、追試・追課題によって単位修得を認める ⑥GPAの計算は、小数点第2位以下を四捨五入するものとする</p>
<p>卒業・進級の認定基準 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>年度末に全校の教育課程編成委員が行う「進級判定会議」にて進級認定、「卒業判定会議」にて卒業認定を行う。 進級・卒業認定の基準は、以下の通り。</p> <p>①出席率：学科毎の要主席時間数の80%以上（各教科）出席していること ②単位取得基準：学科毎の必要科目の単位をすべて取得していること ③卒業制作／公演：評価 C 以上を取得していること ④授業料その他納付金に未納がないこと ⑤内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。 ただし、別途追試験・追課題の審査料として、3,000円を請求する。</p>
<p>学修支援等 (概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別相談の定期実施＋放課後校舎利用＋授業・課題制作相談および指導 ・3者進路相談会実施を主とする保護者との連携 ・スクールカウンセリング制度 ・学費・寮費等相談者への奨学金や各種ローンの相談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
15人 (100%)	0人 (0%)	5人 (33.33%)	10人 (66.6%)
(主な就職、業界等) マンガ家アシスタント、イラストレーター、スマホ系ゲーム業界			
(就職指導内容) 担任によるキャリアカウンセリング、業界研究、進路セミナー、校内企業説明会及び選考会、年金講座、確定申告講座、等			
(主な学修成果(資格・検定等)) 国家資格・検定等はなし			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 日常的な出欠席管理・保護者との情報共有、担任・副担任・教務部部長による個人相談、非常勤教員との情報共有、外部カウンセラーによるスクールカウンセリング制度		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	3Dアニメーションクリエイター科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
3年		2706 単位時間/単位	157 時間	0 時間	2902 時間	0 時間	0 時間
			3125 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
45人		20人	1人	2人	7人	9人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画の作成は、学科毎に専任・兼任両教員によって構成する「教育課程編成委員会」を中心に作成・審議を行い、関係企業・学校関係者評価委員等の意見を反映させながら最終決定するものとする。 ① 9月：学科毎に、第1回教育課程編成委員会会議での意見を加味し、翌年度授業計画案を作成開始。 ②11月：第2回教育課程編成委員会・非常勤講師の意見を反映 ③12月：修正案取纏め・各科目担当選定、科目担当毎の内容精査。非常勤講師打診 ④ 2月：タイムテーブル調整後、学校関係者評価委員の最終確認を行う ⑤ 3月：非常勤講師へ正式依頼。最終授業計画決定
成績評価の基準・方法
(概要) ①出席率・授業姿勢・課題の完成度・試験結果の項目を、科目毎にシラバスに設定された割合により総合的に判定をする。 ②績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)、D評価は不可 ③内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。 ④さらに、履修科目の成績評価を数値化し、全科目の合計点の平均を算出。 その平均点(GPA)により、成績の分布状況を把握する ⑤成績評価の数値化は、以下の通り

<p>A : 5、B : 4、C : 3、D : 2 (履修不可)</p> <p>※Dは、規定に従い、追試・追課題によって単位修得を認める</p> <p>⑥GPAの計算は、小数点第2位以下を四捨五入するものとする</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>年度末に全校の教育課程編成委員が行う「進級判定会議」にて進級認定、「卒業判定会議」にて卒業認定を行う。</p> <p>進級・卒業認定の基準は、以下の通り。</p> <p>①出席率：学科毎の要出席時間数の80%以上(各教科)出席していること</p> <p>②単位取得基準：学科毎の必要科目の単位をすべて取得していること</p> <p>③卒業制作／公演：評価C以上を取得していること</p> <p>④授業料その他納付金に未納がないこと</p> <p>⑤内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。</p> <p>ただし、別途追試験・追課題の審査料として、3,000円を請求する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別相談の定期実施＋放課後校舎利用＋授業・課題制作相談および指導 ・3者進路相談会実施を主とする保護者との連携 ・スクールカウンセリング制度 ・学費・寮費等相談者への奨学金や各種ローンの相談

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 担任によるキャリアカウンセリング、業界研究、進路セミナー、校内企業説明会及び選考会、年金講座、確定申告講座、等			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 国家資格・検定等はなし			
(備考) (任意記載事項)			

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	ビジュアルデザイン研 究科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 900 単位時間／単位	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
1年			555 時間	910 時間	6630 時間	0 時間	時間
			8095 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10人		3人	0人	1人	24人	25人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>授業計画の作成は、学科毎に専任・兼任両教員によって構成する「教育課程編成委員会」を中心に作成・審議を行い、関係企業・学校関係者評価委員等の意見を反映させながら最終決定するものとする。</p> <p>① 9月：学科毎に、第1回教育課程編成委員会会議での意見を加味し、翌年度授業計画案を作成開始。</p> <p>② 11月：第2回教育課程編成委員会・非常勤講師の意見を反映</p> <p>③ 12月：修正案取纏め・各科目担当選定、科目担当毎の内容精査。非常勤講師打診</p> <p>④ 2月：タイムテーブル調整後、学校関係者評価委員の最終確認を行う</p> <p>⑤ 3月：非常勤講師へ正式依頼。最終授業計画決定</p>
成績評価の基準・方法
<p>① 出席率・授業姿勢・課題の完成度・試験結果の項目を、科目毎にシラバスに設定された割合により総合的に判定をする。</p> <p>② 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)、D評価は不可</p> <p>③ 内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。</p> <p>④ さらに、履修科目の成績評価を数値化し、全科目の合計点の平均を算出。その平均点（GPA）により、成績の分布状況を把握する</p> <p>⑤ 成績評価の数値化は、以下の通り A：5、B：4、C：3、D：2（履修不可） ※Dは、規定に従い、追試・追課題によって単位修得を認める</p> <p>⑥ GPAの計算は、小数点第2位以下を四捨五入するものとする</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）</p> <p>年度末に全校の教育課程編成委員が行う「進級判定会議」にて進級認定、「卒業判定会議」にて卒業認定を行う。</p> <p>進級・卒業認定の基準は、以下の通り。</p> <p>① 出席率：学科毎の要出席時間数の80%以上（各教科）出席していること</p> <p>② 単位取得基準：学科毎の必要科目の単位をすべて取得していること</p> <p>③ 卒業制作／公演：評価 C 以上を取得していること</p> <p>④ 授業料その他納付金に未納がないこと</p>

⑤内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。 ただし、別途追試験・追課題の審査料として、3,000円を請求する。
学修支援等
(概要) ・個別相談の定期実施＋放課後校舎利用＋授業・課題制作相談および指導 ・3者進路相談会実施を主とする保護者との連携 ・スクールカウンセリング制度 ・学費・寮費等相談者への奨学金や各種ローンの相談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13人 （100%）	0人 （0%）	2人 （15.3%）	11人 （84.7%）
（主な就職、業界等） マンガ業界、イラスト業界 スマホ系ゲーム業界			
（就職指導内容） 担任によるキャリアカウンセリング、業界研究、進路セミナー、校内企業説明会及び選考会、年金講座、確定申告講座、等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 国家資格・検定等はなし			
（備考）（任意記載事項） 産官学連携事業により、在学中にマンガ・イラスト等の仕事案件を受注し実務訓練を実施。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 日常的な出欠席管理・保護者との情報共有、担任・副担任・教務部部長による個人相談、非常勤教員との情報共有、外部カウンセラーによるスクールカウンセリング制度		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	ビジュアルデザイン専攻科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
4年		3600 単位時間/単位	555 時間	910 時間	6630 時間	0 時間	時間
			8095 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
35人		5人	0人	1人	24人	25人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>授業計画の作成は、学科毎に専任・兼任両教員によって構成する「教育課程編成委員会」を中心に作成・審議を行い、関係企業・学校関係者評価委員等の意見を反映させながら最終決定するものとする。</p> <p>① 9月：学科毎に、第1回教育課程編成委員会会議での意見を加味し、翌年度授業計画案を作成開始。</p> <p>② 11月：第2回教育課程編成委員会・非常勤講師の意見を反映</p> <p>③ 12月：修正案取纏め・各科目担当選定、科目担当毎の内容精査。非常勤講師打診</p> <p>④ 2月：タイムテーブル調整後、学校関係者評価委員の最終確認を行う</p> <p>⑤ 3月：非常勤講師へ正式依頼。最終授業計画決定</p>
成績評価の基準・方法
<p>①出席率・授業姿勢・課題の完成度・試験結果の項目を、科目毎にシラバスに設定された割合により総合的に判定をする。</p> <p>②成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)、D評価は不可</p> <p>③内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。</p> <p>④さらに、履修科目の成績評価を数値化し、全科目の合計点の平均を算出。その平均点（GPA）により、成績の分布状況を把握する</p> <p>⑤成績評価の数値化は、以下の通り A：5、B：4、C：3、D：2（履修不可） ※Dは、規定に従い、追試・追課題によって単位修得を認める</p> <p>⑥GPAの計算は、小数点第2位以下を四捨五入するものとする</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）</p> <p>年度末に全校の教育課程編成委員が行う「進級判定会議」にて進級認定、「卒業判定会議」にて卒業認定を行う。</p> <p>進級・卒業認定の基準は、以下の通り。</p> <p>①出席率：学科毎の要出席時間数の80%以上（各教科）出席していること</p> <p>②単位取得基準：学科毎の必要科目の単位をすべて取得していること</p> <p>③卒業制作/公演：評価 C 以上を取得していること</p> <p>④授業料その他納付金に未納がないこと</p>

⑤内容不十分、出席率不足等によりC評価に達しない科目を有する学生には、単位取得の機会を与える為、科目毎に追試験・追課題を課す。 ただし、別途追試験・追課題の審査料として、3,000円を請求する。
学修支援等
(概要) ・個別相談の定期実施＋放課後校舎利用＋授業・課題制作相談および指導 ・3者進路相談会実施を主とする保護者との連携 ・スクールカウンセリング制度 ・学費・寮費等相談者への奨学金や各種ローンの相談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3人 （100%）	0人 （0%）	0人 （0%）	3人 （100%）
（主な就職、業界等） マンガ業界、イラスト業界			
（就職指導内容） 担任によるキャリアカウンセリング、業界研究、進路セミナー、校内企業説明会及び選考会、年金講座、確定申告講座、等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 国家資格・検定等はなし			
（備考）（任意記載事項） 産官学連携事業により、在学中にマンガ・イラスト等の仕事案件を受注し実務訓練を実施。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 日常的な出欠席管理・保護者との情報共有、担任・副担任・教務部部長による個人相談、非常勤教員との情報共有、外部カウンセラーによるスクールカウンセリング制度		

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 日常的な出欠席管理・保護者との情報共有、担任・副担任・教務部部長による個人相談、非常勤教員との情報共有、外部カウンセラーによるスクールカウンセリング制度		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
マンガク リエイト 科	90,000 円	570,000 円	550,000 円	
コミック イラスト 科	90,000 円	570,000 円	560,000 円	
アニメー ター科	90,000 円	570,000 円	550,000 円	
キャラク ターデザ イン科	90,000 円	570,000 円	560,000 円	
マンガ・イ ラスト総 合学科	90,000 円	570,000 円	560,000 円	
3D アニメ ゲームク リエイタ ー科	90,000 円	570,000 円	560,000 円	
ビジュア ルデザイ ン研究科	90,000 円	570,000 円	550,000 円	
ビジュア ルデザイ ン専攻科	90,000 円	570,000 円	550,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.web-jam.jp/home/file/jikohyouka_h29.pdf
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) ・ 専門学校の教育の質の向上を図り、学校運営の健全性、透明性、信頼性を高めるため、専門分野企業、業界団体から参画した委員の意見を基に、学生、学校教職員、学生保護者等にて情報共有、及び審議を実施し、同時に学校情報の公開に取り組み、専門学校に対する社会的・業界的な信頼を高めることを目指す。 ・ 評価項目 ①教育理念・目標 ②学校運営

- ③教育活動
- ④学修成果
- ⑤学生支援
- ⑥教育環境
- ⑦学生の受け入れ・募集
- ⑧財務
- ⑨法令等の遵守
- ⑩社会貢献・地域貢献

・評価の実施方法

教育課程編成委員会を中心に前述の評価項目について審議・自己評価を行い作成した学校自己評価報告書を基に学校関係者委員にて報告書の内容について審議を実施。

・評価結果の活用

学校関係者委員にて審議した結果を教育課程編成委員会にて共有・審議を行い、内容を即時学校運営、学科運営等に反映させる。

令和1年度の評価結果の活用状況については、学校関係者委員にて自己評価は概ね妥当であるとの評価を頂き、継続して教育の質の向上に努めております。但し、例年課題として議題にあがる、精神的な問題を抱える学生指導については、教職員のスキル向上が必要不可欠であり、積極的な外部研修への参加が求められるため、教職員の年間2回以上の研修参加と定期的な内部研修を実施。

・実施時期

3月下旬に本校舎にて実施。(非常勤講師会、及び教育課程編成委員会第1回会議と併催)

・学校関係者評価委員の定数

- ・1名以上とする。

学校関係者評価委員の選出区分

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- ④保護者
- ⑤卒業生

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
株式会社 muku.	任期は特に設けず、年度末時点で、諸事情により、委員辞任の申し出が無い場合は、年度毎に自動的に継続するものとする。	③企業等委員

学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 公表時期…毎年4月(翌年度)を目途に自校HPにて公開 http://www.web-jam.jp/common/file/school-official-evaluation_h29.pdf?2
第三者による学校評価(任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.web-jam.jp/disclosure/
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	日本アニメ・マンガ専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者(家計急変による者を除く)		46人	46人	46人
内 訳	第Ⅰ区分	23人	25人	
	第Ⅱ区分	15人	15人	
	第Ⅲ区分	8人	6人	
家計急変による支援対象者(年間)				0人
合計(年間)				46人

(備考)

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの 限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年以下 のものに限る。）	
		年間	前半期
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	1人	0人	1人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間数 が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に 連続して該当	3人	0人	3人
計	4人	0人	4人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間数 が標準時間数の6割以下)	1人	0人	1人
G P A等が下位4分の1	3人	0人	3人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	4人	0人	4人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。